

再生骨材と廃PET活用

一般車対応の環境工法開発

日本道路



効果の高い技術となつてい
る。物流施設構内の大型車用
とし、100平方メートルあたり5
00リットル1500本分の廃ペ
ットボトルを活用する。

して同等の耐久性を実現して
いることをホイールトラッキ
ング試験で確認している。さ
らに、修繕コストの抑制と長
寿命化も期待できる。

今回、さらなる開発を進め、
県道や市道、駐車場などを対
象とした一般車対応の環境工
法として、リサイクル骨材と
NT-5000を活用した
「PETアスコン」を開発し
た。同工法では、100平方
メートルあたり700本の廃ペ
ットボトルを有効活用する。

同工法に対して薬王堂が興
味を示し、花王に打診。一関
山目店新築工事を受注してい
た平野組から外構工事を日本
道路が受け、PETアスコン
を初めて適用した。1600
平方メートルを施工し、約1万20
00本の廃ペットボトルを活
用している。

特長として、地球環境への
負荷を低減し、SDGsに貢
献する。特殊な機械は不要で、
耐久性が期待できるほか、わ
だち掘れに対する抵抗性に関

日本道路はスーパーPET
アスコンとPETアスコン
で、今年度20万平方メートル、5年
後には年間70万平方メートルの施工
を目指す。

日本道路は、リサイクル骨

日本道路では、SDGsの

材と環境・耐久性に配慮した
廃ペットボトル（廃PET）
を原料とする、一般車対応の
リサイクル・アスファルト舗
装「PETアスコン」を開発
した。SDGs（持続可能な
開発目標）達成に向けた持続
可能な材料リサイクル工法
で、薬王堂（岩手県）の一関
山目店新築工事の舗装に初採
用された。写真。

達成に向けた取り組みの1つ
として、廃棄されるペッ
トルの樹脂を活用したエコ
ロジー型耐久性舗装のアス
ファルト混合物を開発済み。
花王が製造した廃PETを
活用した特殊添加剤「NT-
5000」を活用し、アス
ファルトで混合・施工する
もので、「スーパーPETア
スコン」として革新的で費用対

用された。写真。

費用対